

2023 年度 事業報告書

法人の名称：認定特定非営利活動法人 子どものための国際音楽交流協会

○はじめに

2023年度は、事業年度期間を1月から12月へと変更した初年度となった。コロナウイルスの感染は落ち着きを見せてはきたものの、完全な終息には至っていない状況にはあったが精力的に楽器収集活動を行いつつ、楽器寄贈についてはスリランカ並びに南部アフリカの数か国へ寄贈活動を行った。年当初にナミビア共和国駐日大使をお招きしてAIMEC本部において寄贈式を行い、年後半には、年明けに南アフリカ共和国などへピースボートの協力を得て寄贈楽器を輸送することが決り、12月14日にピースボートの出港に合わせて船内で支援物資受託式典が開催され、AIMECスプラッシュの高校生の出航記念コンサートが実施された。これらの式典の様子はテレビ神奈川で放送され、また、南アフリカ共和国大使がAIMEC顧問に就任いただくなどし、AIMECの新しい時代の幕開けの年となった。

I.事業方針

学校や自治体、企業や地域と連携し、使われないでいる楽器の収集と寄贈および国際平和支援に関する事業等を行い、子どもたちの音楽教育推進と世界平和の進展に寄与する。

II.事業内容

1. 楽器の収集（国内における楽器の収集）

① 公立・私立小中高等学校における収集活動

- ・内容：教育委員会やPTA、生徒会などとの連携による活動
- ・時期：2023年度中
- ・場所：松山大学、町田市立鴨川第2小学校、相模原総合高校、南足柄市PTA協議会、
湘南工科大学付属高校、栃木県さくら市氏家小学校、神奈川県立平塚中等教育学校
- ・従事者：11人

② 全国各地での団体、個人、企業での収集活動

- ・時期：通年
- ・場所：※NPO法人「JIYU」太陽生命、茅ヶ崎市国際交流協会、横浜市、各地の個人
- ・従事者：10人

<受け入れ楽器>

- ・鍵盤ハーモニカ 698 ・リコーダー 497 ・キーボード 36 ・木琴(マリンバ) 2 ・コンガ 2
- ・ボンゴ 1 ・ドラム 2 ・ティンパニー 3 ・ギターなど弦楽器 4 ・金管楽器 21 その他楽器 23

- ・収集活動支出額合計：114,068円

2. 楽器の寄贈（海外への楽器の寄贈および音楽教育支援）

① ナミビア共和国向け寄贈式

- ・内容：ナミビア共和国に鍵盤ハーモニカやリコーダーなど全11種計581台の楽器を寄贈
- ・時期：2023年2月5日

- ・場所：AIMEC 本部
- ・従事者：15 人
- ・レセプション会費収入：85,500 円 寄付収入：10,000 円

② スリランカ共和国コロombo芸術大学へ寄贈

- ・内容：バイオリンほか計 8 台の楽器
- ・時期：2023 年 9 月 1 日
- ・場所：スリランカ共和国コロombo芸術大学
- ・従事者：11 人

③ ウガンダ音楽学校 AMFU へ寄贈

- ・内容：ウガンダ共和国で未来の街づくり活動をおこなっている「天地の宮（あわのみや）」代表高須多明さんによりウガンダ訪問の際に鍵盤ハーモニカなど計 57 台を AMFU へ寄贈
- ・時期：2023 年 5 月 14 日
- ・場所：ウガンダ音楽学校（AMFU）
- ・従事者：3 人

④ ボツワナ共和国向け寄贈楽器を出荷

- ・内容：鍵盤ハーモニカほか計 255 台を出荷
- ・時期：2023 年 11 月 24 日
- ・場所：本部
- ・従事者：3 人

⑤ ウガンダ共和国「ガヒザ村」へ寄贈

- ・内容：「ガヒザ村」は NPO 法人天地の宮（あわのみや）の未来の街づくり活動の現地拠点で、天地の宮の開催イベントに参加し天地の宮を通じて琴、尺八ほか 25 台を寄贈
- ・時期：ウガンダ共和国「ガヒザ村」
- ・従事者：10 人

⑥ 南アフリカ共和国、イースター島向け寄贈楽器を出荷

- ・内容：ピースボートの協力を得て南アフリカへ鍵盤ハーモニカほか計 861 台、イースター島ラバヌイへギターなど計 20 台を寄贈。
- ・時期：2023 年 12 月 4 日
- ・場所：本部
- ・従事者：8 人

- ・寄贈活動支出額合計：235,981 円（楽器管理、交流と教育支援活動含む）

3. 楽器管理および交流と教育支援活動

① ナミビア共和国向け、南アフリカ向け楽器の出荷準備、梱包、機能チェック

- ・内容：楽器の機能チェックとクリーニング、梱包

- ・時期：2023年1月21日、1月29日、9月24日、11月5日、12月23日
 - ・場所：AIMEC本部
 - ・従事者：延べ60人、
- ② 第2回スーパーバグ会議開催
- ・内容：AIMEC活動会員で構成するスーパーバグの第2回目となる会議を開催。AIMEC活動の活性化に向けた広報活動や中・高・大学生を中心とした若者グループの組織化と活動について話し合われた
 - ・時期：2024年6月4日
 - ・場所：本部
 - ・従事者：15人
- ③ 東海大学で理事長による講演授業実施
- ・内容：東海大学の招きで岩井理事長による「国際理解」の授業2クラス各60名、各40分 AIMEC活動の意義について授業を行い、多くの学生の共感を得た
 - ・時期：2023年1月12日
 - ・場所：東海大学
 - ・従事者：1人
- ④ ピーズボート Voyage116 船内での支援物資受託式典実施
- ・内容：AIMECから南アフリカ共和国向け楽器ならびにピースボートの海外支援事業協力でイースター島向けにAIMECが収集した楽器の受託式典を実施。ここでは、AIMECスプラッシュの湘南工科大学付属高校と県立大井高校の吹奏楽部員による出航記念コンサートを開催。ここでは函嶺白百合学園の小学生が作成してくれたバナーも披露された
 - ・時期：2023年12月14日
 - ・場所：横浜港大さん橋国際客船ターミナル
 - ・従事者：15人

<新聞記事掲載>

- ・東京新聞 1月15日「<記者だより>真心の使者」
- ・朝日新聞 1月25日「日本から世界へ、眠る楽器よ響け NPOが学校や家庭から収集し寄贈」
- ・テレビ神奈川 2月6日、3月6日「猫のひたいほどワイド（楽器で国際交流！）」
- ・テレビ愛媛 3月17日「使わない楽器をウガンダの子供に 大学生が地域巻き込み発送へ」
- ・東京新聞 8月5日「箱根の中学生がボツワナとウガンダの大使館で交流 国歌演奏し鍵盤ハーモニカ贈る」
- ・東京新聞 9月24日「ウガンダと「永遠のつながり」大使が箱根函嶺白百合学園訪問 鍵盤ハーモニカ寄贈が縁で」
- ・神奈川新聞 12月15日「世界の子どもに楽器を ピースボートが横浜出航 高校生が船内で演奏披露」
- ・タウンニュース足柄版 12月23日「中古楽器載せた船海外へ 出港式に大井高生ら参加」
- ・産経新聞 2024年1月15日「音楽の力でアジアとアフリカを繋ぐ架け橋に」
- ・東京新聞 2024年1月24日「楽器で平和広げよう南足柄のNPOがイースター島などに1000点」
- ・テレビ神奈川 2024年1月15日 猫の額ほどワイド「楽器で国際交流！いよいよ楽器が世界へ」